

もくじ

- ゆきおんな  
雪女

ゆきおんな  
雪女

げんさく 原作： にほん むかしばなし 日本の昔話

イラスト： かわの まほ

へんしゅう 編集： YellowBirdProject



むかしむかし、みの吉きちという、若い鉄砲打ちわか てっぽう うちが  
いました。みの吉きちはいつも、父親ちちおやの茂作しげさくと一緒に、  
鉄砲てっぽうを持って山やまに登のぼっていました。

ある、冬ふゆの日ひのこと。二人ふたりはいつものように、  
鉄砲てっぽうをかついで山やまに入はいりました。その日は朝あさから雪ゆきが  
降ふっていて、その雪ゆきも、時間じかんとともにどンドン強つよく  
なってきました。

雪ゆきと風かぜで目の前めまへが真まっ白しろになり、二人ふたりは  
めずらしく、道みちにまよってしまいました。



5

しばらく<sup>やま なか</sup>山の中をさまよっていた<sup>ふたり</sup>二人は、やがて  
<sup>ふる やまご や み</sup>古い山小屋を見つけました。

「おお、<sup>たす</sup>助かった。<sup>きょう</sup>今日はここで<sup>やす</sup>休もう」

「はい、おっとう」

<sup>ふたり</sup>二人はよほど<sup>つか</sup>疲れていたのか、<sup>こや はい よこ</sup>小屋に入って横に  
なったとたん、<sup>ふか ねむ こ</sup>すぐに深く眠り込んでしまいました。

